



分校だより

令和6年度
第2号

静岡県立
下田高等学校
南伊豆分校



学校HP



台湾中高生交流

5月27日(月)雨の中、日本への研修旅行の一環で南伊豆町内にホームステイしている台湾の私立中高一貫校の生徒たちが本校を訪れました。昇降口で1・2年生の歓迎を受けた後、体育館で3年生が式典・卓球のリクレーション企画で歓迎の気持ちを表しました。



カーネーションの収穫を楽しんだ後は、花をきれいにラッピングして、楽しい思い出とともに持ち帰ってもらいました。

特別支援学校伊豆下田分校交流

5月14日(火)、2年生21人が、伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校の生徒たちと一緒にマリーゴールドとサルビアの種まきを行いました。2年生は、その子に応じてできることを工夫しながら交流をしていました。



3年生第2回園児交流



6月20日(木)、本校3年生14名が南伊豆認定こども園の園児との、二回目の交流を行いました。二回目の今回は、お互い名前も覚えて仲良く楽しい雰囲気です。スタートしました。前回雨が降ってしまったので、初めて屋外での交流になり、高校生は園児たちの元気に圧倒されていたみたい…。でもじゃがいもを掘って収穫をリードしてくれた高校生は園児たちには頼もしく見えたことでしょう。



農業クラブ意見発表校内大会

5月14日(火)、意見発表校内大会が行われました。各学年から代表で選ばれた計12名が全校生徒の前で自らの考えを発表しました。

今回の校内大会での選考の結果、分野1類では3年飯田匠洸さん、分野2類では2年水上寛斗さん、分野3類では2年一重りんさんが入賞しました。

3名の代表生徒たちは6月19日(水)に磐田農業高校で行われた各種発表県大会に出場し、飯田匠洸さんが分野1類 私の農業経営スタートはホームプロジェクトで、3位入賞を果たしました。



3年生インターンシップ

私は3日間のインターンシップを通して、経営に対する興味がより深まりました。オープンにあたって場所選びや、商品開発、インテリアの選び方、机の配置まで、すべて利益に直結しているとのことでした。自分が特に印象に残ったのは、スプーンを置くか置かないかだけで、商品の売り上げが大幅に変わってしまうということでした。」



「：体験した内容は、現場の見学・天狗橋という橋の補修工事の見学・工事で使う黒板の制作やドローンを使って高い位置からの写真撮影などです。私は今回体験して、土木建設の仕事は、橋や道路など、多くの人々の生活を支えるものを作り地域に貢献したり安全を守る仕事だと気がきました。」



6月5日(水)～7日(金)の三日間、3年生がインターンシップを行い、興味のある職業の体験をして職業観を養いました。分校生は地域の企業の方々に育てていただいています。

インターンシップを通してまだ自分に足りないところが見えてきました。一つ目はコミュニケーション能力です。報告、連絡、相談をしっかりと誰とでも話せる力をつけられるように日頃から会話のキャッチボールを意識していきたいです。」



「：ブラッシングは素早くやらないと他の仕事ができなくなってしまうと反省をしました。丁寧なだけではノルマなどを達成することには出来ないと思ったので仕事をするには大変なんだと再度考えさせられました。」

